

第3回 江別市本庁舎建設基本計画検討委員会会議録(要点筆記)

日 時: 令和5年12月19日(火)9:30~11:05

場 所: 江別市民会館 会議室37号

出席委員: 末富弘会長、小室晴陽会長代理、西澤拓哉委員、藤本直樹委員、伊藤祥子委員、
鴻野徹委員、佐藤行泰委員、鈴木智枝委員、星優子委員、松村昭二委員、岡崎朱実委員、
鴨田啓治委員
計12名

事務局: 野口総務部調整監、西島総務部参事(庁舎耐震化担当)、上ノ山主査(庁舎耐震化担当)、
大久保主査(庁舎耐震化担当)

その他: ㈱ドーコン北條理事、中嶋主任技師、生沼主任技師

傍聴者: 2名

会議概要

1 開会

2 報告事項

(1)集約する対象庁舎・庁舎面積の目標値について

事務局から、集約する対象庁舎が保健センターも含めた9庁舎とすること、それによって延べ床面積は約16,000㎡を目標とすること、ただし工事費の高騰により事業費が膨らむ場合は集約庁舎の調整を行うことについて説明

○岡崎委員

見間違いかもしれないが、4階建てという報道があったように思ったがいかがか。

○事務局

階数は未定である。

3 協議事項

(1)基本理念・基本方針を実現するための機能等

事務局から基本方針2及び基本方針5について説明

○藤本委員

P1耐震安全性の目標設定について、最上位の設定になっているので、異論はない。参考として、市の地域防災計画において、想定されている地震災害の規模等について教えてほしい。

○事務局

どこにでもおこりうる地震として震度7の可能性はある。

○鴻野委員

安心・安全な庁舎について、構造体等が最上位に設定されており良いと思う。

働きやすく効率的な庁舎については、現場で働いている職員の方の声が一番重要だと思うので、そのように進めて頂きたい。

○星委員

P6の執務空間のイメージについて、予備スペースがあるのは良いと思う。

P8の議場はフラット形式を想定されているが、議場は年間で数回しか使われていないため、フラット形式であれば、他のことで使うことができるため良いと思う。

○佐藤委員

非常によく検討されていると思う。バックアップ設備について、想定として72時間以上で対応可能なのか。

○事務局

72時間以上の詳細については、今後検討していきたい。

○岡崎委員

建築非構造部材とは何か。調べるとガラス等も含まれるということだったが、市としての対象はどこか。

○事務局

一般的には天井や仕上げ部材を指している。今後どのようにしていくか検討していく。

○岡崎委員

P4の断水時の備えとして引き続き検討するのは、貯水槽の設置なのか、受水槽、汚水槽の設置も含まれるのか。

○事務局

その通り。

○岡崎委員

P4の④災害対応設備について、冬の災害で寒さ対策はどう考えているか。カーテンやブラインドなども有効である。

○事務局

空調については、個別空調方式としており、災害時にも個別に制御できるものを想定している。カーテンやブラインドについては現時点では考えていないが、記載について検討したい。

○岡崎委員

P7の③会議室について、会議室の稼働状況を把握できるよう内部の様子を視認しやすいガラス等の使用を引き続き検討するとあるが、予約状況を確認すれば良いので、見に行かなくても良いのではないかと。

○事務局

空き状況確認のためではなく、内部の活動の様子がうかがえる事を明記したつもりであるが、今後の検討とする。

○岡崎委員

P7の④労働安全衛生・福利厚生への照度設定について、細かい範囲で照明をつけたり、照度を調整できたりするようにすると良いと思う。

○事務局

今後そのようなことを検討していきたい。

○岡崎委員

P7の③会議室について、オンライン会議に対応する記載があったが、現在オンライン会議ができる部屋が限られていると聞いたが、その状況は解消されたのか。

○事務局

現状としては、会議室そのものが少ない状況というのがネックとなっている。

○岡崎委員

P8の③バリアフリーについて、防音に配慮した傍聴スペースは、個別のブースを設けるようなイメージか。

○事務局

ご想像の通り。

○鴨田委員

P3の③バックアップ設備について、非常用発電機の設置とあるが、蓄電池も想定しているのか。太陽光パネルを設置するのであれば、蓄電池の設置も良いと思う。

オンライン会議ではモニターだけでなく、スクリーンも想定されているのか。

P7の④労働安全衛生・福利厚生への照明については、執務するところだけではなく、安全に通路を確保できることも必要であるので、良い方法を検討していただきたい。

○事務局

太陽光パネルと合わせた蓄電池の設置については検討していきたい。

災害時の会議室におけるモニターやスクリーンについては未定。近年整備された庁舎の事例を見

ると、大きなモニターを設置している例もあった。照明については引き続き検討していきたい。

○松村委員

9庁舎が集約されるため、より一層多くの人が来ることになると思う。一番大切なのは、職員が働きやすく、来庁者が移動しやすく使いやすい庁舎とすることが重要。利用しやすいものにして頂きたい。

○鈴木委員

保健センターが集約されることになり、様々な人が来庁することになる。

P4について、電源の確保、給水車のルートなど、色んなことを想定して考える必要がある。

職員の休憩スペースの確保、メンタル面でのサポートが必要であると思うので、十分に確保してほしい。

○伊藤祥子委員

P4の下水道の遮断について、汚水槽の設置ではなく浄化槽ではないか。

P5の①セキュリティ対策で、来庁者と職員の動線を分離するということであるが、どういうことか。

○事務局

浄化槽ではなく、汚水槽で一時的に貯めておくことを考えている。浄化槽は、災害時の一時的利用とするのは技術的に難しいのではないかと考えている。

来庁者と職員の動線の分離については、裏に来庁者が入れない通路を設ける方法が考えられる。

○西澤委員

計画書の中で、「～します。」「～検討します。」「～引き続き検討します。」とあるが、どういう使い分けをしているのか。

○事務局

誤解を生じないように文言については統一する。

○西澤委員

P1の耐震安全性の目標については、1.5倍となるので異論はない。ただ目次に「4-4構造計画」があるので、耐震構造に関する方針は第4章の方に移動する考えもあると思う。また、階数も決まっていないのであれば、耐震構造で検討しますということで良いのではないか。

○事務局

ご意見を参考に検討する。

○西澤委員

P6のユニバーサルレイアウトについて、少し説明が足りないのではないか。文章の中に解説等が必要だと思う。また図中に書棚も記載されていると良いと思う。

文章がわかりにくいので、文章を全般的に見直した方が良い。

○事務局

ユニバーサルレイアウトについて、説明や注釈を追加するなど検討したい。

文章についても改めて見直し、わかりやすい文章に修正を行う。

○小室会長代理

P3の洪水による浸水はしない想定となっているが、一時的な豪雨に対してはどのような対応とするか。地下室に受電設備を置くのか、1階なのかなどそういったことだと思う。

○事務局

一次的な水害に関して考えていきたい。

○小室会長代理

駐車場について、災害時は場合によっては想定外に大量の車が来ることも想定されるが、周辺の緑化部分に駐車させるなど、基本的な考えがあれば聞かせてほしい。配置計画にも影響されると思う。

○事務局

現時点では、臨時的な駐車場の考え方について整理していない。これから検討していきたい。

○小室会長代理

P4の④災害対応設備について、例えばコンセントや充電設備などは、市民の方が日常的に使えるようにした方が良いと思う。日常的にも利用できて便利だし、非常時にも使えるようにすると良い。

○事務局

ご意見を参考とさせていただきたい。

○小室会長代理

P8の議場をフラット形式とし、他にも利用できるようにしておくのは良いと思う。その際、部屋の名称も重要だと思う。部屋の名称も空間の在り方やデザイン、利用の制限に影響を与える。例えば、多目的利用できるような名称としてはどうか。具体的には「議場・ホール」といった併記をするなど、多目的利用できるような名称も今のうちに検討しておくが良いと思う。

○事務局

議場については今後も他の利用について検討していくため、室名と併せて検討していきたい。

○末富会長

新しい庁舎は、従来以上にオープンファシリティになるため、防犯・セキュリティと利用のしやすさとのバランスが重要となる。

○藤本委員

参考意見であるが、文章がわかりにくいところがあるという指摘があった。わかりにくさの原因としては、修飾語が長く、主語が文章の中盤や終盤にあることだと思う。計画書として、主語は文頭にもってくるとわかりやすくなる。

「～引き続き検討します」と「～検討します」については、この基本計画で詰め切れないものは、今後の基本設計等で詳細に検討していくことになるため、「引き続き検討します」と統一して良い。

○事務局

わかりやすい表現に引き続き修正していきたい。

(2)事業手法・財源

事務局から事業手法・想定する財源について説明

○西澤委員

事業費について、「調査・設計費は含みません」と記載があるがどうということか。事業費に含める方が一般的だと思う。

○事務局

他市の基本計画を参考に改めて確認していきたい。

○藤本委員

事業手法について、従来方式とすることについては異論ない。VFM 算定については、長い期間での試算もされているか。

○事務局

期間については複数年次を精査している状況。計画書に載せるかどうかも含めて検討中である。

○岡崎委員

一般的に PFI はコストが下がるので良い方法と理解していたが、この VFM の試算は、当初からの結果を想定していたのか説明を頂きたい。また、図中の「その他」とはどのような内容か。

○事務局

VFM 試算は特に結果の想定は無かったが、商業施設を持たない庁舎では PFI のメリットが発揮できないこともあり、道内の本庁舎で PFI を採用している事例は限りなく少ない状況である。「その

他」は、PFI 特有にかかるコストが含まれている。

○小室会長代理

事業手法に関して、ECI 方式についてはもう少し考えても良いのではないかと。ECI 方式も総合力ある建設会社でないと対応できなく、地元の建設会社の参入が難しいといったことも考えた提案だと思うが、早い段階でコストカットできる方法を検討できるのは良いと思う。

○事務局

ECI 方式のメリットについてはご意見のとおり。一方、表中に記載しているとおり、今後の建設単価の変動や国の起債制度の動向などが不透明であり、一括発注によるリスクが懸念されるため、事務局としては施工も含めて発注するリスクを重く見て従来方式としている。

○岡崎委員

事業スケジュールについて、設計施工分離発注だと、どの段階で基本設計を発注することになるのか。また、想定される財源について、令和7年度末となっているが、いつまでに申請すればよいのか。

○事務局

基本設計については、想定ではあるが令和7年の夏頃まで基本設計を行い、令和7年度末までに実施設計を行う予定としている。

現在の起債制度は、令和7年度末までに事業完成となっており、制度の延長だけでなく、経過措置として令和7年度まで実施設計の着手で認められる場合も想定しており、今後も注視していきたい。

4 その他

○末富会長

追加で意見がある方は、12/21(木)までに意見を提出するようお願いしたい。

○岡崎委員

次回の委員会は1/18となっているが、どんなテーマとなるか。まだ意見を出す機会はあるか。

○事務局

次回の第4回委員会はこれまでの意見を反映させた計画(素案)についてご意見をいただく予定。まだ意見を頂く機会はある。

次回の開催日程は、令和6年1月18日(木)9:30からとしており、場所は今回と同じ市民会館37号会議室で行う予定としている。

5 閉会

以上

6 第3回江別市本庁舎建設基本計画検討委員会後に頂いたご意見

○西澤委員

P4 「本庁舎整備においては、……従来方式（設計施工分離発注方式）を基本に検討することとし、……」→極めて妥当な判断だと思います。

（理由）市町村でDBやECIが非常に盛んに導入されていますし、当センターが支援業務として関わっているものもあります。しかし、DBやECIの様々なメリットが発揮されているものは、極めて少ないですし、発注側の労力や契約後の調整など課題が散見されます。DBやECIの導入を検討するのであれば、道内の事例を精査するなど、慎重な対応をした方が良いと思います。

P5 概算事業費

3年後の80万円/㎡は予算額としては足りなくなる恐れがあるのではと思います。

基本構想2万㎡から基本計画1.6万㎡に絞ったので、あえて予算まで絞り気味にする必要はないと思います。

基本構想の70万円/㎡（R4）を再精査し、伸び率3.3%についても一定の余裕（余裕度、安全率のようなもの）をもっていいと思います。

当センターが関わっている市町村の庁舎整備事業では、物価上昇に市町村の計画が追いついていないものが極めて多いです。

余裕をもって予算を確保したうえで、予算を使い切るのではなく、基本設計・実施設計で切り詰めていくような発想の方がいいと思います。

P6 「※調査・設計費は含みません」→委員会でも発言しましたが、基本構想や基本計画に要する費用を事業費に含めないかもしれませんが、調査・設計費は含めるのが一般的かと思います。

P6 想定する財源

「……いずれの起債も事業期間は令和7年度までとなっており……」→（修文例）「……いずれの起債も令和7年度までに工事を完了しなければ適用を受けることができないため……」等修文が必要かと思います。

P6 想定する財源

記載の種類によって、交付税バックが●●%あることを記述した方が、莫大な借金を抱えるわけではないことがわかると思います。

また、「基金」についても「庁舎建設基金」等の庁舎建設のためにお金をためていたことをアピールできるよう記述を変えた方がいいと思います。

○岡崎委員

【方針2】P3 バックアップ設備

非常用発電機の他に、蓄電池も、というご意見がありましたが、加えて、方針3であげられていた「電気自動車」の活用も可能だと思います。

【方針 5】 P7 照明について（補足、ここでの内容とは違うかもしれませんが。）

窓際とそうでない場所、その他、天候や時間帯によって、照明で必要な照度が異なってくると思われるので、調光機能付きの照明も検討されてはどうか、と思います。

【方針 1】 (2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能)

①来庁者の誘導

視認しやすい色彩やピクトグラムを有効に使い→既に含まれていると思いますが、北見市役所の例にあるように、ピクトグラムと文字の両方がある方がわかりやすいと思います。また、色（明度）の組み合わせも、わかりやすさに関係するようですので、そちらも、合わせて考慮していただけたらと思います。

参考として、福岡市の「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」の P6 から P18 が、参考になると感じましたので、URL を記載しておきます。（認知症の人を対象としたものですが、高齢者にもやさしいデザインになると感じました。）

https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/74905/1/tebiki_JP.pdf?20230915103839

【方針 3】 冷暖房に関しては、今後検討されると思いますが、一部でも、エアコンを使用する場合は、室外機の日よけ対策等も、考慮されると良いと思います。

窓については、方角や季節によって、採熱と遮熱のバランスをどうとるかも検討していただけたらと思います。

夏の夜など、外気を取り入れることで、冷房負荷を下げられますので、治安面も考慮に入れながらご検討いただけたら、と思います。

カーテンやブラインドは、暖房負荷、冷房負荷を下げる効果（退庁時、閉めることで、夏の日射遮蔽、冬の保温）もありますので、ご配慮いただけたらと思います。